大統領を裁く国 アメリカ

トランプと米国民主主義の闘い

１，権力と民主主義

- a)大統領職を見くびっていたトランプの誤算
  - ア）人権団体からの「警告」
  - イ）やまぬ低支持率
  - ウ）司法・国民から厳しくチェックされる大統領
- b)日本が米国から得るべき教訓
  - ア）報道の自由を通した権力暴走の阻止

２，リチャード・ニクソンという前例

- a)リチャード・ニクソンのウォーターゲート事件
  - ア）1972年再選目指すニクソン側の盗聴事件
  - イ）ワシントン・ポストの命運を賭けた取材
- **b**）「犯罪行為」に手を染めたニクソン
  - ア）反戦運動家・メディアへの盗聴・監視行為

２，リチャード・ニクソンという前例(続)

- c)ニクソンとトランプの類似点

  ア）既存システムに不満の白人労働者層からの支持

  イ）批判的なメディアへの敵視

  ウ）権力乱用のメンタリティ

３，
反トランプと民主主義と日本の現状

- a)加速するトランプ離れ
  - ア)2017年8月12日のKKKと反対派衝突事件への対応
  - イ)白人至上主義者への擁護に対し世間の批判
- b)民主主義の働き
  - ア)ベトナム・イラク反戦の国民によるデモ
  - イ)不法移民に寛容な連邦地裁の大統領令への対抗
  - ウ)パリ協定を遵守し続ける州・自治体
  - エ)メディアの「報道の自由」

３，
反トランプと民主主義と日本の現状(続)

- c)安倍政権(当時)における民主主義の機能の危うさ
  - ア)「クロ現」「報ステ」「NEWS23」キャスター降板
  - イ)安倍政権へ批判的なメディアへの圧力
  - ウ)国際的にみても低い日本の報道の自由度
- d)メディアのあるべき姿
  - ア)権力に媚びず圧力に怯まぬ姿勢

４，

- 結論：米国の根幹たる民主主義の強さと日本への問い
- 理由：国家の最高権力者から国家自身を守る必要性